

尊延寺の自然を守る会

活動日時：月2回 第3・第4日曜日

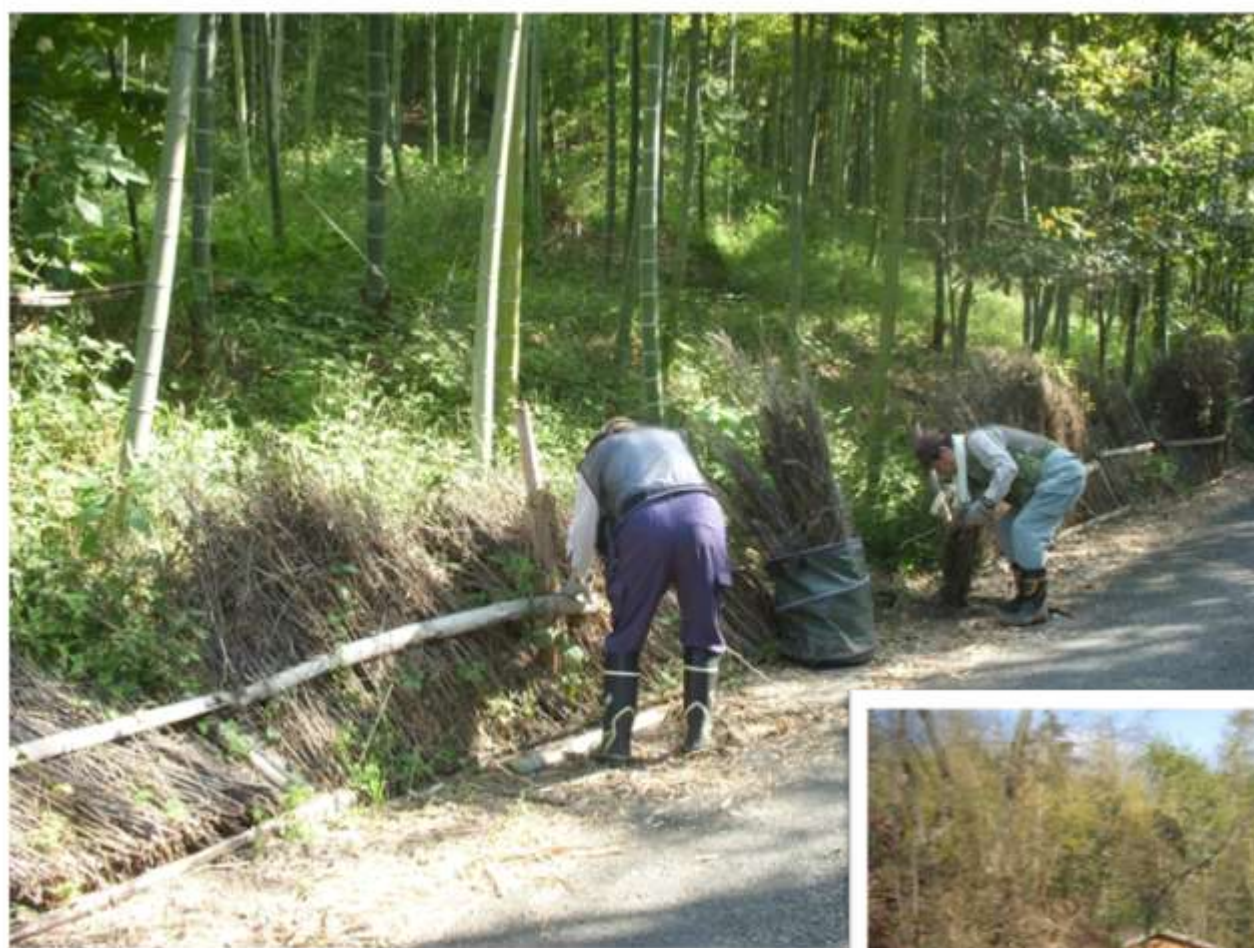
午前9時30分～

活動場所：尊延寺 東山及び西山周辺

7つのフィールド

1993年7月に設立。

「この里山は次世代に引き継ぐべき財産である」との信念のもと、里山の景観、自然環境をよみがえらせる活動を行うため、会を発足しました。



伐採した竹の枝を生垣にしています。傷みが目立ってきた生垣の取り替え準備作業をしています。

里山の林床に茂る下草や低木等を伐採整理。

1ヶ所に集めている様子。



フクロウの巣箱。巣箱をかけた
り、保護調査をしたり
しています。（写真右→）



ニホンミツバチの養蜂の
ため、養蜂箱を設置。
地域ブレンドのハチミツ
がとれます。



竹林整備、下草刈り、放棄田の再生作業、あぜ道や作業道の草刈等のほか、ミホンミツバチを養蜂し、ハチミツの採取やブルーベリーの栽培など、今後の里山の活用について考えています。



里山を「守りたい」「残したい」だけでは解決できない問題課題が山積しています。

ハチミツとともに新たな地場産業を提案したいと思い、ブルーベリーの栽培にチャレンジしています。



ある程度整備された竹林は、林床に太陽光が当たるので、草がよく生えて育ちます。放っておくと雑草が覆われ、手入れが行き届かなくなるため、草刈り作業は大事な作業です。